

令和3年度タイラギの生息状況について（55点調査結果）

令和3年12月7日

佐賀県有明水産振興センター

1. 目的

この調査は毎年1回実施し、有明海湾奥部（干潟域を除く）におけるタイラギの生息状況を広域的に把握するものである。

2. 調査年月日

調査日：令和3年10月11～15, 18日の6日間。

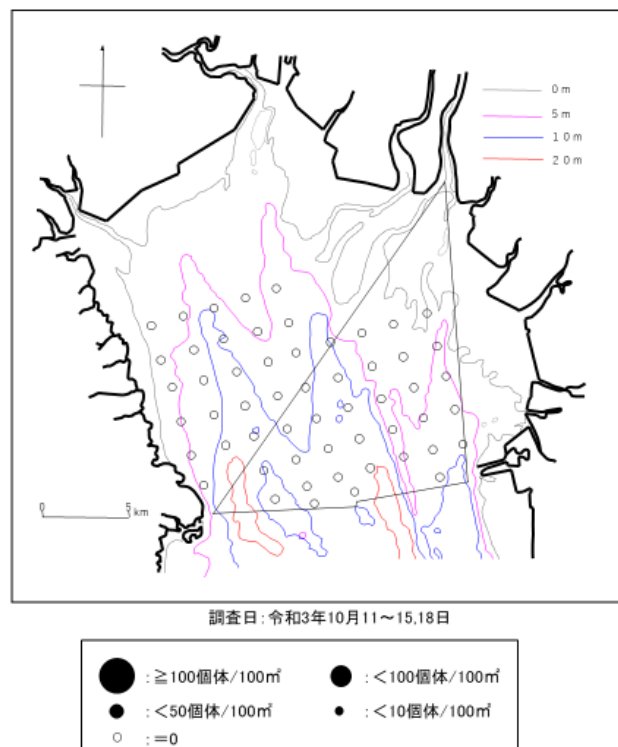
3. 調査方法

- ① 潜水器船で、合計55地点を調査した。
- ② 各調査地点の海底に、100mのロープを潮流方向に張り、ロープ沿いの幅1mの範囲内（100㎡）にみられた生物を採取した。
- ③ 採取した生物は、水産振興センターに持ち帰り、殻長、重量等を測定した。

4. 調査結果

① タイラギ成員の生息状況

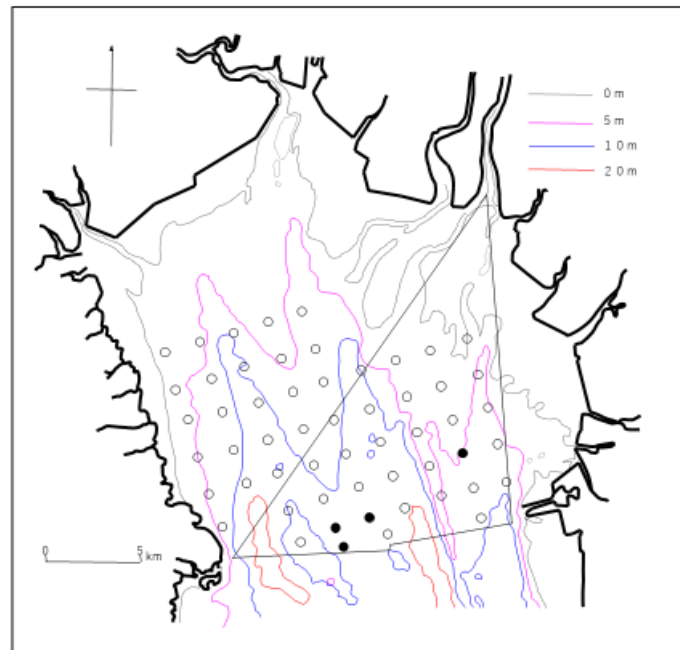
下図に示したとおり、成員は確認されなかった。



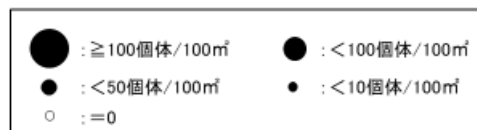
タイラギ成員生息密度（令和3年度55点調査）

② タイラギ稚貝の生息状況

下図に示したとおり、稚貝は55地点中4地点で確認された。100㎡当たりの採捕数は全地点で1個であった。平均殻長は、50mm（46～63mm）であった。



調査日：令和3年10月11～15,18日



タイラギ稚貝生息密度（令和3年度55点調査）